和気あいあいの倉敷まちづくり ～みんなで話しあい、学びあい、支えあい～

くらしき社協だより88号　令和３年　夏号

ほっと社協！ Vol. 88

主な内容

- 支え合いがあふれるまちくらしきの「今」を知ろう！
- 令和3年度倉敷市社会福祉協議会事業計画・予算
- 地区社会福祉協議会の紹介
- 【特集1】互近助パントリープロジェクト協力者募集
- 【特集2】第3次倉敷市地域福祉活動計画 基本目標１紹介
- 新設地区社協紹介　倉敷西学区社会福祉協議会
- 福祉講演会のご案内
- 倉敷市社協会員加入のお願い　など

ガイドブック・事例集の配布先

- 倉敷市社協各事務所
- 倉敷市役所健康長寿課
- 倉敷市社協ホームページから電子版をダウンロード可能

地域共生ガイドブック「△（参画）は〇（えん）になる」

令和3年3月発行

- 世代や立場の垣根を越えたつながりと支え合いの事例と様々な困りごとに対する相談支援窓口を掲載

被災地発支え合い活動事例集「豪雨ニモマケズ 第二版」

令和3年3月発行

- 被災地真備町の住民、支援者の復興に向けた取り組みや支え合い活動、これからに向けた思いを紹介

支え合いがあふれるまちくらしきの「今」を知ろう！

特集1 互近助パントリープロジェクト協力者募集
特集2 第３次地域福祉活動計画（基本目標１）

動画はYouTubeで配信中！

YouTubeの検索画面から「さわやか福祉財団　倉敷」で検索

『NEXT～心と心をつなぐ工夫と取り組み～』公益財団法人さわやか福祉財団が作成するコロナ禍でもつながりを切らない全国の取り組みの動画事例集第5弾として紹介

編集・発行　社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会　倉敷市笹沖180番地　TEL：086-434-3301　ホームページ：http://kurashikisyakyo.or.jp

令和3年度　倉敷市社会福祉協議会事業計画・当初予算

令和３年度は、主に６つの重点目標を掲げて活動してまいります。
皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【１】地域福祉活動計画の推進
- （１）互いに助け合い、支え合う地域づくり
- （２）誰もが安心して相談でき、解決につながる地域づくり
- （３）地域で安心して暮らすための仕組みづくり

【２】発展強化計画の推進
発展強化計画の推進により、地域福祉活動計画を安定的に推進するため、組織、財政等について側面から支えていきます。

【３】財源確保を目的とするファンドレイジングの取組

【４】第３次倉敷市地域福祉活動計画の概要説明を含む役職員研修会の開催

【５】「真備支え合いセンター事業」（倉敷市受託事業）の実施
仮設住宅の入居者等に対する見守りや日常生活、生活再建に関する相談支援、住民同士の交流の機会の提供を行います。

【６】災害対応のための事業の実施
事業継続計画に基づく模擬訓練の実施、災害ボランティアセンター設置訓練の実施、奈良市・高知市社協との災害協定に基づく職員研修の実施、災害廃棄物の取り扱いに関する協議に参加いたします。

事業内容

1.公私協働事業　233,796千円
（社協会費、寄附金、共同募金配分金、市補助金等により実施する事業）

◆広報活動事業
◆地区社協活動・団体育成事業
◆法人後見事業
◆福祉講演会事業
◆福祉機器貸出事業
◆歳末たすけあい配分事業
◆ボランティア推進及び育成事業　等

2.受託事業　386,653千円
（県社協及び市受託事業）

◆真備支え合いセンター事業
◆介護者リフレッシュ事業
◆生活支援コーディネーター配置事業
◆介護支援サポーター養成事業
◆結婚相談所事業
◆給食サービス事業
◆日常生活自立支援事業
◆生活福祉資金貸付事業
◆夏のボランティア体験事業
◆高齢者支援センター事業　等

3.自主事業　87,297千円
（介護保険関連事業）

◆居宅介護支援事業
◆デイサービスセンター事業
◆訪問介護事業

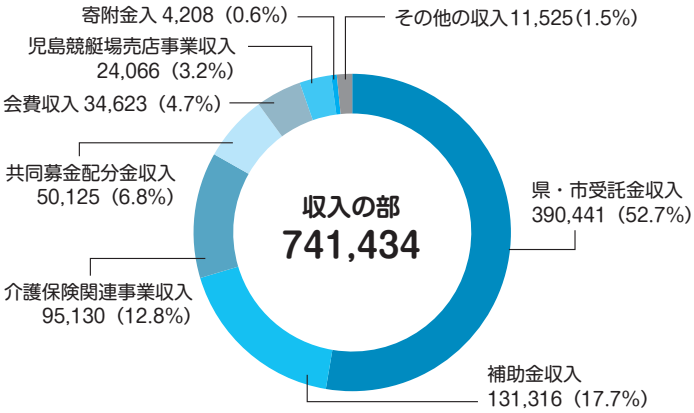
4.市指定管理事業　19,279千円
（市から指定管理者として指定を受けて実施している事業）

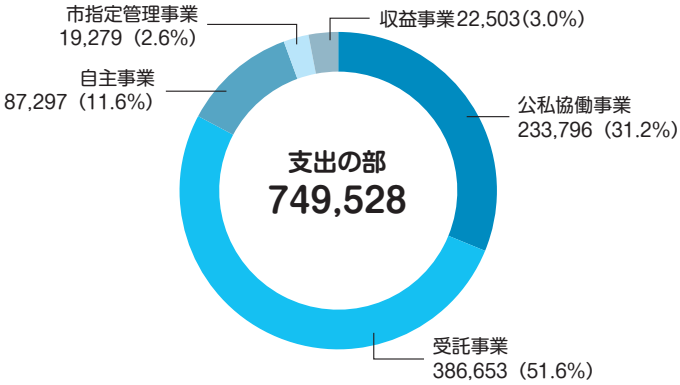
◆高齢者福祉センター事業

5.収益事業　22,503千円
（福祉事業に使うことを目的に実施している事業）

◆競艇場売店事業

当初予算





※単位は千円。収入、支出の差額は前年度繰越金を充当。

＊閲覧できます＊
事業計画、資金収支予算書は
倉敷市社協のホームページで閲覧できます。

新人紹介

★４月１日採用職員★
１名が入職しました♪

玉島事務所　主事
手塚　春菜

≪各地区社会福祉協議会の紹介≫

現在、市内の６３小学校区のうち５５小学校区に地区社会福祉協議会（地区社協）が設置されています。
倉敷市社協のホームページで、各地区社協を紹介しています。
今回は、**「葦高地区社協」・「岡田地区社協」**を紹介します。

葦高地区社会福祉協議会（倉敷地区）

葦高地区社協は平成２０年５月に設立されて以来、「みんなの葦高協議会（コミュニティ協議会）」と連携して活動を行っています。コロナ禍前は春の運動会から始まり、ふるさとまつり・敬老会・お飾り作り・餅つきなど季節にあわせた行事のほか、グラウンドゴルフ親睦大会の開催や災害に備えた防災訓練等も実施していました。

コロナ禍前に大盛り上がりした運動会
以前のように笑顔あふれる活動ができることを願っています

また、各町内のサロンでは、いきいき百歳体操やディスコン・手芸・脳トレ等々、お茶を飲みながらの「おしゃべり」に花が咲き、笑いも絶えません。これが元気の源となり、いきがいにもなっているようです。昨年はコロナ禍により、今までと同じような活動はできませんでしたが、感染対策を行いながら体操や防災訓練を開催したり、コロナ禍の収束や医療従事者への感謝を込めて、大高・葦高・倉敷南の３学区コミュニティ協議会主催の花火大会への協賛を行うなど、つながりの機会を絶やさないよう、できる範囲での活動を行ってきました。

感染症対策をして実施した防災訓練での土のう作り

高齢化が進み、担い手不足に悩む昨今、こうした地域の活動が、参加者同士の情報交換の場であったり、様々な世代や立場の人がつながる出会いの場となり、担い手の人材育成に役立つ活動を続けています。

岡田地区社会福祉協議会（真備地区）

岡田地区は旧真備町の東端、高梁川右岸に位置し、推理作家・横溝正史が戦禍を避けて疎開生活を送った場所として有名です。西日本豪雨災害では地区の一部を除いて甚大な被害を受け、避難所となった岡田小学校には最大2,000人の方が避難されていました。

小学新１年生へ「防犯ベル」を贈呈

被災から約３年。地区社協活動で、これまで以上に大切にされているのは、日頃からの声かけと見守りです。令和２年はコロナ禍で、地域と人とのつながりをどうすれば持続できるのか思案する年でもありました。そうしたなかで、初めて開催したのは「絵手紙講座」。なかなか会えない大切な人へ心を届ける絵手紙は、参加者から大変好評で来年度も開く予定だそうです。

その他、小学新１年生へ防犯ベル贈呈、交通安全パトロール、独居高齢者へお飾り配布など、可能な限り活動を実施しました。

初めて開催した「絵手紙講座」

「一番嬉しかったのは『気にかけてくれて、ありがとう』という言葉です」とお話しくださった事務局の渡邉さんと松王さん。

岡田地区を愛し、普段からお互いに心を配り、声をかけ合うあたたかいつながりは、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくための心強い土台であると感じました。

互近助（ごきんじょ）パントリープロジェクト

互いに近所で助け合う

協力者大募集

コロナ禍で深刻化している地域の困りごと。
それぞれのできることをつないで、この困難を乗り越えるための倉敷の挑戦が始まります。
互近助パントリープロジェクトは、一人ひとりの暮らしのすぐそばに**食材と生活雑貨と“優しいお節介さん”**を配置する、新しい見守り・支え合いのしくみです。

長引くコロナ禍…

- 生活困窮者の急増
- 自粛に伴う地域交流と相談（雑談）の場が減少
- 複雑多様化した困りごと・地域からの孤立

地域のつながりで支え合う 互近助パントリーのながれ

1 食材・生活雑貨の提供者を募集

・スーパーマーケット
・企業・商店街・農家
・個人・NPO 等

互近助パントリーは様々な機関・団体・個人からいただく食材によって支えられています。
賞味期限が近いものや作りすぎたお野菜などをありがたくいただき、善意を地域におつなぎします。

集めています！

・お米・保存食品（缶詰・インスタント食品・レトルト食品）
・乾物（乾麺・のり・昆布等）・調味料・野菜類・お菓子・学用品
・その他生活雑貨等

食材・生活雑貨の受け取り・保管

食材・生活雑貨の提供・補充・活動支援

2 互近助パントリーサポーターの募集

・社会福祉法人・地域活動団体・子育て拠点
・地域の見守り役
・地域の集会所等

身近な地域で、食材や生活雑貨を活用して、困りごとの支援や地域の交流活動を支援する「互近助パントリーサポーター」を募集します。
ご近所さんだからできる交流を通した困りごとの発見と支え合いが期待されます。

求めています！

・身近な困りごと発見と相談
・地域の新しい支え合い活動として
・社会福祉法人や事業所等の公益活動として

相談・紹介・連携

3 相談・支援機関との連携

・生活困窮者支援機関
・保健所
・教育機関
・母子機関等

パントリーを通して気づいた困りごとは支援機関と連携することでより早い対応と解決に向けた支援の入口となっていきます。

食材や生活雑貨の提供希望・パントリーサポーターに関心がある等
お問い合わせは倉敷市社協地域福祉課まで　☎４３４－３３０１

第3次倉敷市地域福祉活動計画①

倉敷市社協では、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間を計画期間とする、第 3 次倉敷市地域福祉活動計画を策定し、その計画の実現に向けて 3 つの基本目標を設定しました。

今回は **基本目標 1「互いに助け合い、支え合う地域づくり」** の推進に取り組むための 4 つの重点目標についてご紹介します。

重点目標1 身近な地域のつながり強化（つながる）

❶ 身近な地域の通いの場の充実

交流の機会を通じて絆を深め、日頃から近所で気軽にあいさつや声かけ、見守りができるように顔の見える関係づくりや通いの場の情報発信に取り組みます。

地域の身近な居場所の活性化につながるサロン交流会

❷ 新たな生活課題（コロナウイルス等）に対してもつながりの切れない見守りの推進

新たな生活課題（コロナウイルス等）に対しても、つながりの切れない見守り活動に取り組みます。

友愛訪問で生活の見守りとコロナ感染防止グッズをお届け

重点目標2 地域活動・地縁団体の活性化（もりあげる）

❸ 話し合いの場の充実

小地域ケア会議など地域での話し合いの場づくり、既存の話し合いの場の活性化に取り組みます。

よりよいまちづくりに向けて、小地域ケア会議で住民同士で意見交換

❹ 小地域福祉活動計画の策定

生活の困りごとを抱えた住民の見守りや支援の方法など地域全体の課題を共有する場、福祉のまちづくりに向けた地域ごとの計画など様々な場面での住民の話し合いの場を盛り上げて、地域活動の活性化に取り組みます。

防災ウォークの様子
身近な地域の活動計画が安心したまちづくりにつながります

重点目標3 担い手の活躍推進（てをつなぐ）

❺ 担い手・ボランティア養成講座の充実

積極的に地域で活躍できる担い手の発掘やボランティアの養成、企業との連携を図り、担い手を増やします。

ガイドヘルパー養成講座
担い手・ボランティアの活躍が地域の活力につながります

❻ ボランティアや生活支援・地域活動へのマッチング機能強化

より多くのボランティアや担い手となる人が、地域とつながりボランティア活動に参加できるように、情報提供を行い、身近に参加できる活動の場づくりに取り組みます。

託児ボランティアで保護者の活動を支援

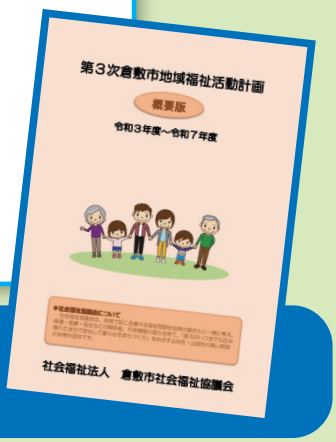
重点目標4 お互いさまと支え合いの意識の醸成（はぐくむ）

❼ 福祉教育の充実

お互いさまの意識を育み、地域課題を「丸ごと」解決できる支え合い意識の醸成に取り組みます。

また、地域共生社会の実現のために、幼いころから福祉に関心をもってもらえるよう、福祉教育の充実を図ります。

福祉教育が子どもたちのお互いさまの意識を育みます



第 3 次倉敷市地域福祉活動計画【冊子】及び【概要版】は倉敷市社協のホームページからもご覧になれます。

新設地区社協紹介　倉敷西学区社会福祉協議会

令和2年12月15日に倉敷西学区社会福祉協議会を設立しました。地区社協として55番目の設立になります。

倉敷西学区は倉敷美観地区もある倉敷の中心部に位置し、国道２号線を挟んで北側の古くからの住宅地の多い地域と南側の新しい住宅も多い地域がある学区です。

これまで地域活動も町内や団体ごとに取り組まれています。「それぞれの活動を活かしつつ、学区全体で地域福祉活動に取り組んでいけないか」と、小地域ケア会議で協議を重ね、このたびの設立となりました。

現在は、コロナ禍のため大勢で集まることが難しい状況ですが、学区内のつながりを絶やさないためにも感染に気をつけながら出来る活動を考え、取り組んでいきたいと思っています。

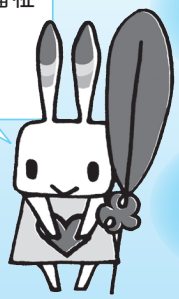
倉敷西学区社会福祉協議会　会長　長田　貞夫

倉敷のまちを良くするしくみ。令和2年10月1日から12月31日実施

「赤い羽根共同募金」・「歳末たすけあい募金」のお礼とご報告

今回もたくさんのあたたかい募金をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。
引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

募金は、身近な福祉の参加への第一歩。
地域の元気な福祉活動は、皆様からの募金に支えられています。



赤い羽根共同募金
54,962,451円

歳末たすけあい募金
18,542,979円

倉敷市内の地域福祉活動に約60%、岡山県内の施設・団体等が行う福祉活動に約40%が使われています。
全国で起こる(※1)災害復興支援活動にも役立てられます。

(※1)平成30年度豪雨災害では、倉敷市災害ボランティアセンター運営費等、被災者支援の活動費として多くの配分を受け取りました。

倉敷市社協が行う事業や助成金に活かされています。

・敬老祝い品贈呈事業	8,616,000円
・歳末慰問金贈呈事業	2,553,008円
・市内地区社協(54カ所)で実施する歳末事業への助成等	7,373,971円

福祉講演会のご案内

玉島会場

「大切な家族の絆」
～笑いあり、涙あり、四世代奮闘記～

玉島市民交流センター
玉島湊ホール
定員：350人

8月27日(金)
13:30～15:00

バイマーヤンジン
(チベット出身声楽家)

★受講票が必要です。受講票は、7月27日(火)から玉島事務所で配付します。
(なくなり次第終了)

水島会場

「コロナ禍　苦しい時こそ　支え合おう」
～無理しない　つながり方～

水島公民館　大ホール
定員：200人

9月17日(金)
13:30～15:00

直島　克樹
(川崎医療福祉大学講師)

井上　正貴
(水島こども食堂ミソラ♪代表)

※コロナ禍の状況により**定員変更又は中止**になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

倉敷市社会福祉協議会役員（理事）の紹介

令和３年３月２５日就任
新垣　敦子（にいがき　あつこ）

社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございました。

「誰もが住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らせる」よう、地域福祉活動を推進するために活用させていただきます。
敬称略、五十音順に掲載しております。（掲載期間：令和2年12月1日～令和3年2月28日まで）

篤志寄附

【倉敷地区】　阿智の風（3,000 円）、近藤真由美（金一封）、宗教法人　真如苑（金一封）、藤田　美子（金一封）、フラフィデイサービス（金一封）、匿名（金一封）
【水島地区】　北原知恵子（金一封）、北原　義行（金一封）、仲川　喜代美（100,000 円）、松本　郁子（金一封）、匿名（金一封）
【玉島地区】　中藤　七五三夫（金一封）、大相撲を楽しむ会（金一封）
【真備地区】　真備町佛教会（金一封）、匿名（金一封）

香典返し寄附

【倉敷地区】　渡邉　和博（金一封）、仲田　久枝（金一封）
【水島地区】　三宅　誼（金一封）
【児島地区】　藤原　庸祐（金一封）
【玉島地区】　小山　文也（金一封）、小幡　英範（金一封）、笠原　輝樹（金一封）
【船穂地区】　金政　光子（金一封）
【真備地区】　石井　上俊（金一封）、匿名（金一封）

お名前の掲載につきましては、寄附者のご了承をいただいております。
なお、上記のほか12名の掲載希望なしの方からご寄附をいただいております。

物品寄附

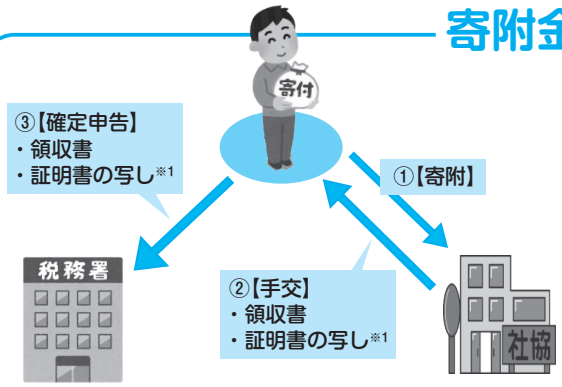
真備地区
岡山県西部ヤクルト販売㈱様から車イス１台を寄贈していただきました。
「被災地である真備地区へ車イスを」とのことで寄贈

倉敷地区
JFE条鋼㈱水島製造所様から「行事用テント2張」を寄贈していただきました。
「地域のみなさまの集う場に活用していただきたい」と社会貢献の一環として寄贈

【振込先】◇領収書が必要な方は、倉敷市社協総務課へご連絡ください。
振込口座：中国銀行　倉敷市役所出張所　（口座番号）　普通　１１１７１９８
口座名義：社会福祉法人　倉敷市社会福祉協議会　寄付金会計　会長　中桐　泰

ご寄附は、倉敷市社協各事務所にご持参いただくか、左記の口座へお振り込みいただけます。
※振込手数料はご負担ください。

寄附金控除について



倉敷市社協を含む税額控除対象法人※2へ個人で年間2,000円を超えるご寄附をされた方は、税制上の優遇が受けられます。詳しくは、受付時にお問い合わせください。

※1　証明書の写し：Ⓑ税額控除の申請の場合に必要
※2　税額控除対象法人：所轄庁から租税特別措置法等に定められている要件を満たしていると認められている法人

【AかBのどちらか有利な方を選択】

所得税

A　所得控除

課税所得（所得金額 － 控除額所得）× 税率 ＝ 税額

所得控除を行った後に税率をかけるため、所得税率が高い高所得者の方が減税効果が大きい

B　税額控除

税額 － 控除額税額

寄附金額を基礎に算出した控除額を、**税率に関係なく、税額から直接控除する**ため、小口の寄附にも減額効果が大きい

＋

個人住民税の税額控除

※控除対象額、控除額には限度額があります。
※その他の条件がある場合もあります。詳しくは税務署にご確認ください。

福祉のまちづくりを支える
賛助会員名簿

※賛助会員の掲載につきましては、令和２年12月１日から令和3年2月28日までに賛助会費を納入いただいた皆様を掲載しています。五十音順、敬称は省略させていただいております。

倉敷　（公社）倉敷市シルバー人材センター、㈱コーセイカン　玉島　割烹子元　船穂　ヤンマーホールディングス㈱

令和3年度倉敷市社協の会員加入のお願い

倉敷市社協は、地域の皆様や福祉関係者の皆様と一緒に「地域でつながり、だれもが安全・安心に暮らしていける支え合いのまちづくり」を推進しています。

社協会費は、そのためのさまざまな地域福祉活動を支援する事業に活かされています。

今年度も、社協会員加入のお願いを各地区の役員の方々にご協力をいただきながら実施します。

皆様からの温かいご支援、お力添えを心よりお願い申し上げます。

地域支援

世代を超えた様々な地域活動の活性化や住民同士のつながりを応援しています

個別支援

法人後見事業活動の様子
個別支援を通じてその方の安心した生活につなげます

会員会費（年額）　普通会費　1口　300円　特別会費　1口1,000円　賛助会費　1口5,000円

※賛助会費は、税額控除が適用されます。（令和2年度実績33,656,950円）

口座振込でもご加入いただけます　【振込先】

振込口座：中国銀行　倉敷市役所出張所　口座番号：普通　1021051

口座名義：社会福祉法人　倉敷市社会福祉協議会　会長　中桐　泰

飲めば飲むほど「のど」も「こころ」も「福祉の財源」もうるおう事業です！

“福祉まちづくり自動販売機”設置者募集中！

「福祉まちづくり自動販売機」では、飲み物を買っていただくと、その売り上げの一部が寄附され、倉敷市社協が実施する地域福祉活動に活かされます。

主には「在宅介護者への支援事業」や「地域から孤立をなくすための見守り活動」、「ボランティア活動への支援事業」、「車イスや福祉車両の貸出事業」など、さまざまな地域福祉活動を通じて地域の皆様へ還元されます。

この度、新たに設置いただき、現在40台の自動販売機及び災害支援自動販売機が設置されています。

自動販売機の新たな設置、又は入れ替えをお考えの個人・企業・団体の皆様は、ぜひご検討ください。

◇ 第40号機 ◇

有限会社 とみや水島様

第40号機を設置してくださいました。
ご協力ありがとうございました。

有限会社とみや水島の代表取締役尾﨑宏昭様（左）と倉敷市社協事務局長 川原伸次（右）

ホームページバナー広告募集！

【応募資格】どなたでも応募可能ですが、倉敷市社協賛助会員の入会をお願いしています。１年間：40,000円・６カ月間：25,000円

facebook ご覧ください！

倉敷市社協の活動や地域の情報を写真付きで配信中です。社協の「いま」がわかります！

編集・発行　社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会

事務所名	住所・電話等		施設名	休館日
総務課 地域福祉課	〒710-0834　倉敷市笹沖180番地	TEL 434-3301　FAX 434-3357	くらしき健康福祉プラザ3階	毎週月曜日 祝日 年末年始
倉敷ボランティアセンター	〒710-0834　倉敷市笹沖180番地	TEL 434-3350　FAX 434-3357		
倉敷結婚相談所	〒710-0055　倉敷市阿知1-7-2-803	TEL 427-0667　FAX 427-0670	倉敷駅西ビル8階	
水島事務所	〒712-8062　倉敷市水島北幸町1-1	TEL 446-1900　FAX 440-0154	水島支所3階	毎週土・日曜日 祝日 年末年始
児島事務所	〒711-0912　倉敷市児島小川町3681-3	TEL 473-1128　FAX 470-0054	児島支所4階	
玉島事務所	〒713-8121　倉敷市玉島阿賀崎1丁目1-1	TEL 522-8137　FAX 523-0054	玉島支所2階	
真備事務所	〒710-1301　倉敷市真備町箭田1161-1	TEL 698-4883　FAX 698-9622	真備保健福祉会館1階	
船穂福祉センター	〒710-0261　倉敷市船穂町船穂1861-1	TEL 552-5200　FAX 552-9030	船穂町高齢者福祉センター	毎週日曜日・祝日 年末年始
真備支え合いセンター	〒710-1301　倉敷市真備町箭田1161-1	TEL 698-5115　FAX 697-5160	真備保健福祉会館1階	毎週土・日曜日・祝日 年末年始

本広報紙の発行には共同募金の配分金の一部を使用させていただいております。